

大阪
堺泉北

ニュースは

社会部
06(6633)9734
FAX
06(6633)9738
堺支局
072(233)0406
関西空港支局
0724(56)7220
泉南通信部
0724(64)0540

北摂支局
06(6852)1651
池田通信部
072(754)3683
高槻通信部
072(661)3374

枚方通信部
072(840)6414
東大阪・八尾
通信部
0729(67)1431
富田林通信部
0721(23)3895

広告のご用は
06(6633)9474
購読お申し込みは
0120-34-3733
折込チラシは
06(6343)2251

本家「すずめ踊り」

仙台のまつりで披露



すずめ踊りを練習する「堺すずめ踊り普及会」のメンバーら＝堺市

400年ぶり、里帰り、堺に復活のお礼

普及会メンバー 20、21日に

堺にゆかりがある宮城県「仙台すずめ踊り」を四百年ぶりに堺市に「里帰り」させ、「堺すずめ踊り」として普及活動をしている「堺すずめ踊り普及会」(葛村和正会長)のメンバーら約九十人が二十、二十一日、仙台市で開かれる「仙台青葉まつり」で「すずめ踊り」を披露する。

すずめ踊りは、扇子を両手に持って、囃子に合わせ軽やかなステップで踊るのが特徴。慶長八年(一六〇三年)、泉州・堺出身の石工らが伊達政

りが発祥とされ、踊る姿がすずめに似ていること

と、伊達家の家紋が「竹にすずめ」だったことから、「すずめ踊り」と呼ばれるようになったという。仙台市では、毎年このまつりで踊られるなど、伝統芸能として深く市民に根付いている。

しかし、堺市ではほとんどその存在を知られておらず、平成十五年十月、市内の踊り愛好家のグループの一員として「仙台よさこいまつり」に参加した同市堺区の主婦、楠本篤子さん(五十四)が、仙台で「すずめ踊り」の由来を教えられて初めて知ったという。

今年一月には、愛好家約九十人で同普及会を結成。仙台からの「里帰り」のお礼にと、今回は「堺のすずめ踊りを仙台で披露する」ことを計画。二月から練習を重ねてきた。

楠本さんは「現在は堺まつりのひとこまですずめ踊りが、いずれは、すずめ踊りだけでまつりを開けるようになりたいですね」と普及活動に意欲を見せている。